

平成 25 年度「行動科学」試験と授業に関するアンケートの結果

平成 26 年 4 月 8 日

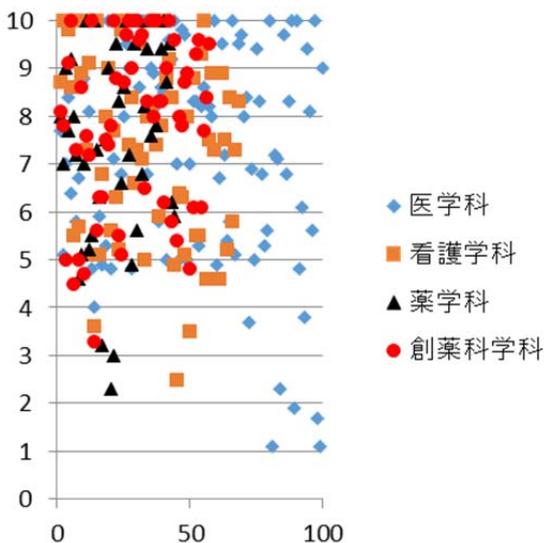
行動科学 堀

期末試験の際に記入してもらったアンケートの集計結果を報告します。

平成 25 年度は初年度ということもあり、試行錯誤で講義を組み立てた部分がありました。したがって、やや難解な部分や進捗の遅れがあったかと思います。これらの点は、次年度にはなるべく改善できるようにしたいです。また、試験は出題形式や量など、授業中の皆さんの反応を見ながら決めました。前年度の情報が無い状態での試験だったので、受講生の皆さんは対策が立てにくかったと思いますが、私も皆さんがどれだけの回答をしてくれるか情報が無い状態での試験問題の作成でしたので、難しかったです。

アンケートの内容を簡単に分析してみます。アンケートは Visual Analog Scale (VAS) と呼ばれる方法で集計しました。結果は、有効回答数 (n=270) の全てを学科別にプロットした図で表記します。

Q1. 試験の難易度 (簡単 0・・・難しい 10) 平均値：7.52



縦軸は試験の難易度についてのスコアで、10 に近いほど難しいと回答しています。

平均値は 7.52 であり、皆さん割と難しいと感じていたようです。

しかし、

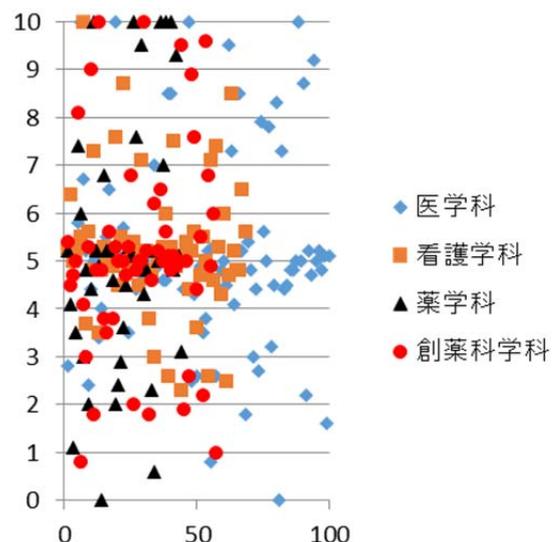
「出題形式がわかっていたら、難しくない」

というコメントもあり、前年度の情報がなかったことが難易度を上げている要因の一つである可能性があります。

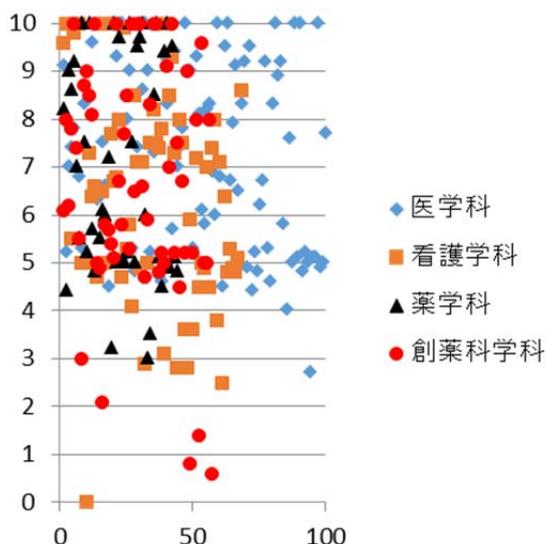
Q2. 試験の量 (少ない 0・・・多い 10) 平均値：5.17

縦軸は試験の量で、10 に近いほど多いことを意味します。試験の量については、多からず少なからずと感じている人が多いようです。

試験時間も 1 コマでしたので、1 時間以内に解答が終わるように準備してみましたが、ちょうどよかったようです。



Q3. 穴埋め問題の量 (少ない0・・・多い10) 平均値：6.83



10に近いほど、穴埋め問題が多いと感じていることを示します。穴埋め問題は多いと感じている人が多いようです。穴埋め問題に対しては、

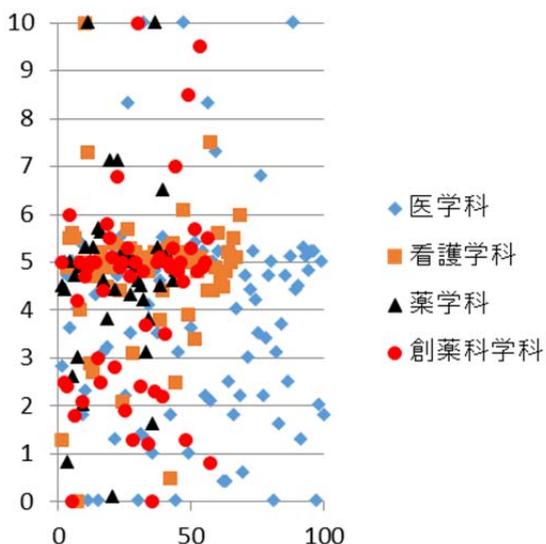
「語句を正確に覚えなくてはならないので、量が多くて大変すぎる」

といった意見もありました。

ですが、語句は正確でなくても、意味が合っていれば正解としました。

試験実施日が試験期間の最後であり、採点をすぐにしなくてはならない状況だったので穴埋め問題を多めに設定したのですが、負担に感じた人が多かったようです。

Q4. 記述試験の量 (少ない0・・・多い10) 平均値：4.31



穴埋め問題とは逆に、記述問題は多からず少なからずと感じている人が多いようです。穴埋め問題が多ければ、相対的に記述問題が少なく感じた可能性があります。

採点にもう少し時間をかけられるのであれば、もう少し記述問題を多くして、“覚えるよりも理解する”ようにしてもらえるかもしれません。

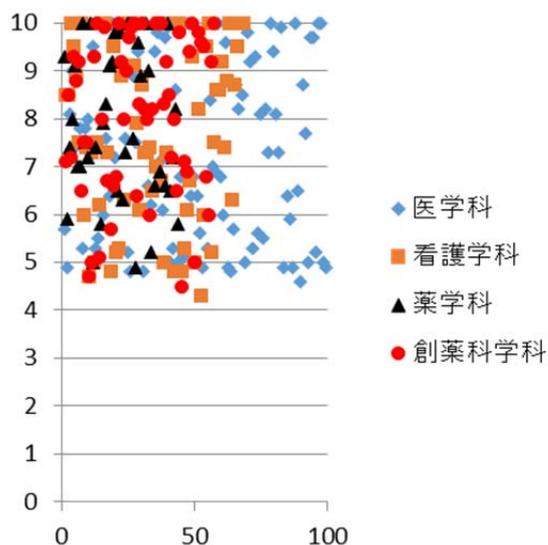
Q5. 授業ノート (配布プリント) の量
(少ない0・・・多い10) 平均値：7.75

これは、圧倒的に多いと感じている人が多数です。中には、

「生科よりも多いなんて、マジありえない」という意見もありました。

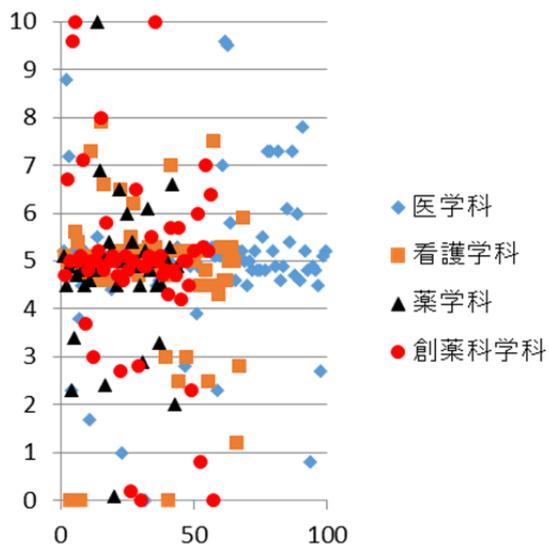
一方で、

「プリントは試験勉強しやすくて良い」という意見もありました。



私自身、プリントを作成しながらちょっと多いかなと思っていましたので、次年度は少し削減する方向で検討します。

Q6. 授業進捗速度 (速い0・・・遅い10) 平均値：4.88



授業の速度は速からず遅からずといった感じに捉えている人が多いようです。

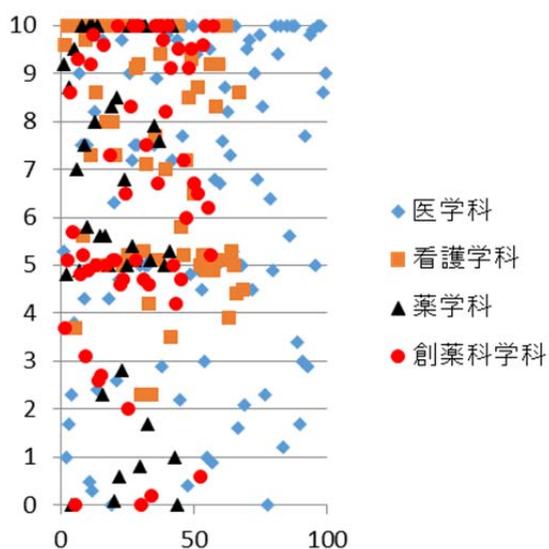
意見として、

「プリントの穴埋めに一生懸命になって、理解ができなかった」

というのもありました。

ちゃんと理解しようとした人には、若干速かったのかもしれません。

Q7. カードリーダーによる出席記録 (悪い0・・・良い10) 平均値：6.62



どちらかと言えば高評価であるようですが、意見が分かれました。

高い評価をした場合の意見として、

「紙が無駄にならない」「記入しないですむ」「授業中に紙を回さなくてよい」「時間まで正確に記録できる」「代筆不可」

等がありました。

一方、低い評価の意見としては、

「記録だけして退室する人が多い」「出席を正確に反映していない」「並ぶ時間が無駄」

等がありました。

中には、

「カードリーダーと紙を併用して、記録だけして退室するのを防いではどうか？」

「授業の途中で休憩を兼ねてカードリーダーでの記録をとってはどうか？」

等、不正防止に対する建設的な意見を書してくれた人もいました。

きちんと出席している人にとっては、カードリーダーで記録だけ残して退室してしまう人がいるのが悲しかったようです。

授業そのものについてのコメントを見ると、概ね満足してもらえたような気がします。

「臨床的な話が織り交ぜられていて、おもしろかった」

といった意見もありました。

試験については、

「出題形式を選択問題とすることで、“正確には覚えていないけど理解している”を反映できるのでは？」

といった建設的な意見があり、講義中に話した真意をくみ取ってくれているようで、嬉しかったです。

反面、

「この量の穴埋めを覚えるのは無理」

といった意見もあり、改善が必要だと感じました。

カードリーダーによる出席記録は、皆さんにとっても初めての事だったと思います。アンケートで記入してくれたように、利点と欠点がそれぞれあります。欠点については、最も多かったのが

「カードをかざして退出してしまうのが防げない」

でした。この点については、なるべく改善できるよう対策を考えます。

皆さんからの意見を参考に、より良い授業展開ができるよう、改善を講じたいと思います。